

第22回全外教セミナー・千葉集会

- 日本語を母語としない子どもたちに、学習と進路をどう保障していくか -

ご案内

私たち全国在日外国人教育研究協議会（略称、全外教）は外国籍や外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題を明らかにし、そうした子どもたちと日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践をすすめてきました。その一環として1996年に第1回全外教セミナーを神奈川県で開催し、以来、今回のセミナーで第22回を迎えます。今回は「日本語を母語としない子どもたちに、学習と進路をどう保障していくか」をテーマに千葉の地で開催をします。

千葉県では現在、公立小・中・高・特別支援学校に3,139人の外国籍児童・生徒がいます。また、日本語指導を要する児童・生徒は982人に達し、さらに増加傾向にあります。これら状況に対して、学校の内外でさまざまなとりくみがなされてきました。このセミナーでは、千葉に住む日本語を母語としない高校生・大学生、保護者の思いを聞きながら、ボランティアや学校でのとりくみ、そしてこれらの問題に積極的にとりくんでいる他都道府県の実践を紹介していただこうと考えています。

多くの皆さんの参加を期待します。



主催	全国在日外国人教育研究協議会・千葉実行委員会
後援	千葉県教育委員会（依頼中）・千葉市教育委員会 ちば国際コンベンションビューロー・千葉市国際交流協会 千葉県高等学校教職員組合・千葉県教職員組合（依頼中） 千葉県同和教育研究協議会
日時	2010年5月8日（土）13時～17時
場所	千葉県教育会館（千葉市中央区中央4-13-10）
テーマ	日本語を母語としない子どもたちに、学習と進路をどう保障していくか
内容	第1部 子どもたちと保護者の声を聞いてみよう 日本語を母語としない高校生・大学生と保護者 第2部 学習と進路をどう保障していくか 市町村教育委員会へのアンケートから ・千葉県（房総日本語ボランティアネットワーク） ・神奈川県（神奈川県在日外国人教育連絡協議会） パネルディスカッション パネリスト 田中秀子（千葉・センシティ土曜にほんご教室） 王慧瑾（東京・多文化フリースクール） 白谷秀一（千葉・四街道高校） 角田仁（東京・小山台高校定時制） 吉田美穂（神奈川・田奈高校） コーディネーター 時原千恵子（進路ガイダンス実行委員会）
参加資料代	1000円
その他	セミナー終了後、全国交流会を予定しています。 参加費は3000円です。
連絡先	千葉実行委員会・白谷（080-3175-9539）
交通手段	JR千葉駅下車 南東へ約1km JR本千葉駅下車 北東へ約800m 京成千葉中央駅下車 東へ約600m JR千葉駅からは県庁方面バスに乗り、中央4丁目にて下車